

令和6年度 児童朝会（講話98）

令和7年3月17日【メジャーリーグ】

おはようございます。6年生は明日卒業式を迎えます。ご卒業おめでとうございます。それでは今年度最後の児童朝会がんばっていきましょう。

まずは先週のお題から。「皆さんなら、無人島に1つだけ持っていけるなら、何を持っていますか？」がお題でした。いつも以上にたくさんの答えが書いていただきました。水、食料、おかし、家族、友だち、通信機などなどありました。書いていただいたみなさん、ありがとうございました。なおネットで調べると3位は寝袋、2位はテント、1位はナイフになっていました。

今日はこのマークのお話です。そう、メジャーリーグのお話です。メジャーリーグというのは、日本に阪神や巨人などのプロ野球があるように、アメリカのプロ野球のことを意味します。日本プロ野球の日本ハムファイターズからアメリカメジャーリーグのロサンゼルスドジャースにうつった有名な選手と言えば誰でしょう？

そう大谷翔平選手ですよ。ピッチャーだけどバッターでも活躍され二刀流とよばれ、2年連続メジャーリーグでMVPになるなど、史上最高の野球選手として有名です。他にメジャーリーグで活躍した選手って誰がいますか。この選手は？そうイチロー選手。この選手は松井秀喜選手ですね。

実は日本から野球の本場アメリカに渡って活躍している選手は今までに100人近くいるのですが、大活躍した最初の選手って知っていますか？そう、トルネード投法で有名な野茂英雄選手です。野茂選手を紹介したこのビデオを見てみましょう。

体全体を使って投げるこの投球方法とフォークを使って三振を次々にとっていった

ことでも有名ですが、何よりも野茂選手がこのようにメジャーで活躍したからこそ、イチロー選手や、大谷翔平選手がメジャーにいきやすくなったのですね。野茂選手が行くまでは、日本人がメジャーで活躍できるとは、だれも思っていませんでしたから。

その野茂選手ですが、大阪市の池島小学校出身で、卒業文集が今も残っています。一部紹介しますね。

「ぼくは、将来、第一希望は甲子園に出場してプロ野球の阪神タイガースに入団することです。第二希望は高校に行くことです。ピッチャーもいきたいし、ショート、サード、レフト、にもいきたい。打つのは王選手をぬくぐらいのホームランを打つこと。毎年、ホームラン王や首位打者、盗塁王、新人王、沢村賞をとれるぐらいのうまさ、ぼくの将来の希望だ。

球の早さは百七十キロでみんな内野ゴロでカーブ、ホーク、シュート、ナックル、シンカーなどで三振をとること。毎試合勝利。毎年五十本ホームラン。三十年間は、野球をやりたい。」

どうでしょう。これを読んだ誰もがはじめは「無理だ。できっこない！」と叫んだそうです。しかし、野茂選手だけはあきらめませんでした。また、中には「ああ。それは野茂選手だからできたんでしょ！」という声もあったそうですが、野茂選手の小中学校時代は、野球選手としては全く注目されていない、普通の選手だったそうです。それなのに、なぜこれほど活躍できたのでしょうか？

実は、夢をかなえるのは、それほど複雑なことではありません。それは、夢をあきらめないということです。夢をあきらめると夜に見る夢のように、はかなく消えてしまいます。でも、絶対かなえてやるんだといっし

ようけんめいその夢にむかってがんばれば、  
いつかはその夢はかなうというものなのです。

皆さんにはどんな夢がありますか。それを絶対あきらめないでください。校長先生は皆さんの夢がかなうように応援をします。

今週は皆さんが将来かなえたい夢を待っています。最後まで静かにきいていただき、ありがとうございました。